

第2学年 防災学習指導案（特別活動）

日 時 令和4年9月29日（木）
場 所 2年教室
児 童 9名
指導者 滝沢 修一

題材について			
題材名	わたしたちの岩手山		
目標	八幡平や岩手山の自然の素晴らしさを知るとともに、岩手山は噴火の危険があることを理解し、危険を回避し、安全に行動しようとする態度を養う。		
指導内容	<p>本題材では、身近にある八幡平や岩手山の自然の素晴らしさを知り、自分達の地域の良さに気づかせる。そして、岩手山は噴火の可能性があることや、これまでどのような噴火が起こったのかについて理解させる。そして、火山噴火によってどのような災害が起こるか、どのような行動をとればよいかを、考える素地を築いていく。</p> <p>本時では、岩手県の活火山の資料により、岩手山は噴火の可能性のある山であることに気付かせる。そして、岩手山の噴火の種類を資料やビデオを活用して調べることによって、岩手山が噴火すると、どのようなことが起こるのか、その時にどのような行動をして危険を避けるかを考え、安全に行動しようとする態度を養う。</p>		
児童の実態	<p>児童は、八幡平の自然の素晴らしさについて学習し、実際の遠足で美しい景観を見てきている。また昨年度、岩手山は過去に噴火したことがあることも学んでいる。しかし、火山の災害については、学習しておらず、家庭や地域での避難行動について家族などから聞いている様子はない。避難訓練を通して、地震や火事からの避難について真剣に取り組んでいる。</p> <p>防災意識アンケートでは、岩手山は噴火する山だということは、全員知っているが、噴火した際、避難する時の持ち物を準備しているのは3名である。</p>		
指導計画	<p>第1時：八幡平の素晴らしさについて知る。（生活科） 第2時：八幡平遠足の行程を知り、マナーや見たいものについて考える。（特別活動） 時間外：八幡平遠足（行事） 第3・4時：岩手山噴火の可能性を理解し、自分の地域の被害を知ること、危険を回避し、安全に行動しようとする態度を育てる。（特別活動） （副読本 P2～P3、 P7～P9）【本時3/4時】</p>		
本時の指導			
防災教育項目	I 火山噴火について知る A 火山噴火のおき方について知る		
目標	岩手山噴火の可能性を理解し、自分の地域の被害を知ること、危険を回避し、安全に行動しようとする態度を養う。		
主体的な学び	つきたい力	手立て	評価規準
	岩手山噴火の可能性を知り、危険を回避するために自分ができることを考える力	ビデオや火山噴火に関する資料や映像、自分の家を明記した防災マップから、岩手山の噴火の危険性を自分事としてとらえさせ、命を守るためにできることを考えさせる。	岩手山噴火の危険を回避するために、自分ができることを考えている。 (ワークシート)

本時の展開		
	学習活動と予想される児童の反応（・）	指導上の留意点と資料（◆）
第3時 (本時)	導入 5分 1 八幡平のよさを想起する。 ・景色がきれい。 2 岩手山は、噴火の可能性があることを確認する。 ・活火山の仲間に入ってる。 3 本時の学習内容を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 岩手山がふん火したら、自分たちのちいきに、どんなことがおこるのだろう。 </div>	○八幡平についての学習を想起させてから、本時の岩手山の学習へつなげる。 ○副読本の資料から、岩手山は活火山であることに気付かせ、噴火の可能性がある山であることを理解させる。◆防災副読本(P3) ○岩手山は過去に噴火があったことに気付かせ、噴火について関心をもたせて、学習課題につなげる。 ◆焼走り熔岩流の写真
	展開 40分 4 岩手山の噴火の仕方を知る。 ・西側は水蒸気爆発、東側はマグマ噴火だ。 ・水蒸気爆発はすごい煙だ。 ・マグマ噴火はマグマが出る。 5 想定された被害の映像を見る。 ・火山泥流はすごい勢いの流れた。 ・火山灰で何も見えなくなる。 6 自分たちの地域について想定された被害を、拡大した防災マップで確認する。 7 自分の地域で想定される被害についてまとめ、本時の学習を振り返る。 8 振り返りをもとに、次時の課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 岩手山が噴火したら、どこに、どうやって避難したらよいだろう。 </div>	○岩手山は活火山であり、これまで「マグマ噴火」「水蒸気爆発」をしていることを知らせる。 ○「マグマ噴火」「水蒸気爆発」「マグマ水蒸気爆発」の意味をできるだけ分かりやすい言葉で説明し、理解させる。 ◆防災副読本 P2 ○想定された被害の映像を見せることで、命を守ろうとする意欲をもたせる。 ◆防災教育教材 DVD 火山編 ○自分たちの地域で想定された被害について、拡大した防災マップで確認させ、考えたことや思ったことから、次時の課題につなげる。
第4時	35分 9 自分の地域で想定された被害の様子から、自分の命を守るためにどんなことが大切か知る。 10 自分の命を守るためにできることをワークシートに記入し、話し合う。 ・コミセンなどに避難する。 ・ヘルメットをかぶる。 ・マスクをする。 ・長そでやズボンを着る。 ・大人の言うことを聞いて行動する。 ・家族と避難について話し合っておく。 ・防災グッズを準備しておく。	○副読本の資料から、岩手山が噴火したら、どんな避難行動が大切なのか、また普段からどんなことに気をつければよいのかを理解させる。 ◆副読本 (P7～P9) ○自分たちの地域で想定された被害の様子から、自分の命を守るためにできることをワークシートに記入させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 評価：岩手山噴火の危険を回避するために、自分ができることを考えている。(ワークシート、発言) </div> ○個々でまとめたことを発表して交流する。
	終末 10分 11 学習をまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> わたしは、岩手山がふんかしたら、いのちをまもるために、〇〇〇をする。 </div> 12 学習を振り返る。 ・友達の意見を聞いて、なるほどと思った。 ・先生の説明を聞いて、初めて知った。	○本時の学習で、考えたことを自覚させ、振り返りとする。 ○学習したことを家族にも伝えるように促す。

